

## 海外新着情報（9月更新）

海外新着情報では、神奈川県との協力による海外駐在員との連携の中で得た「海外での企業活動の現状に関する情報」をご案内します。

### ○ 中国

#### ・大連市内の新型コロナウイルス感染の拡大と防疫対策の強化について

～中国・大連～（2022年8月30日）

今年4月以降、大連市では新型コロナウイルスの感染はほぼ確認されておらず、7月からの夏休みシーズンには多くの中国国内観光客が大連を訪れるなど、コロナ禍が始まって以降、一番の活気を見せていたが、8月になり、海南省三亜市や新疆ウイグル自治区などの人気観光地で多くの感染者が確認されており、大連市内でも複数の感染者が確認されました。

大連市内では8月25日から、市内全域（または特定地域）で連日のPCR検査受診指示が出ており、その結果、市中心部（中山区、西岗区、沙河口区、甘井子区、高新园区）で数十人単位の感染者（無症状を含む）が確認されました。これを受け、同5区では8月30日（火）から9月3日（土）までの計5日間、各家庭では1日1人1回の外出で生活物資を購入する以外に不要不急な外出を禁止するとの通知が発出された。特定の業種を除き原則在宅勤務となり、外出中はN95マスクの着用が求められます。公共施設や娯楽施設などは営業停止となり、飲食店では店内の飲食は禁止です。特定の区から他の区への移動（例：市中心部から開発区への出勤）が原則禁止となり、バスや地下鉄、長距離バスや観光バスなども運航が停止となるなど、事実上の「プチロックダウン」状況となっています。

今後の感染状況により、上記5区以外の地域も同様の状況になることや制限期間の延長、さらに厳格な防疫政策がとられる可能性もあるため、市内では不安の声が上がっています。

### ○ 東南アジア地域

#### ・10月1日以降、タイでの滞在許可延長が決定

～タイ・バンコク～（2022年8月31日）

タイ政府は8月19日、新型コロナウイルス感染状況の改善に伴い、観光業支援のため、外国人旅行者の滞在許可期間の延長を決定しました。10月1日から来年3月31日の期間限定で実施します。

日本を含めた50カ国の旅行者に認めているビザ（査証）なし入国の場合、滞在許可期間は30日から45日に延長。これにより今後、さらなる外国人旅行者の増加が見込まれます。

・入国時ワクチン未接種でも隔離不要に

～ マレーシア ～ (2022年8月8日)

マレーシア政府は1日付けでマレーシア入国条件が緩和されたと発表しました。ワクチンステータスに関係なく、入国後の検査、隔離及びトラベラーズカードの入力手続きは不要となりました。ただし、出国前のMy Sejahteraアプリのダウンロード及び必要事項の記入(名前、パスポート番号等)は引き続き必要です。

○ 北米地域

・米カリフォルニア州で日系企業 2,491 社の所在確認、ジェットロ日系企業実態調査

～ 米国・ニューヨーク市 ～ (2022年8月26日)

ジェットロが実施したカリフォルニア州の日系企業数やアンケート回答企業の所在別結果の報告書によると、カリフォルニア州で 2,491 社の日系企業が確認され、郡別ではロサンゼルス(32.1%)、サンタクララ(22.4%)、オレンジ(12.3%)、市別ではトーランス(13.0%)、サンフランシスコ(9.6%)、サンノゼ(9.1%)が上位という結果になりました。

親会社の業種は上位から製造(31.8%)、卸・小売り(12.0%)、情報システム・ソフトウェア(11.2%)でした。

また、北カリフォルニアでは、アンケートに回答した企業のうち、32.1%がリモート勤務を前提に州外からの採用を検討しており、64.2%は「完全リモート勤務」、59.9%は「フレックスタイム勤務」を導入済みと回答し、南カリフォルニアでは、51.5%が今後1～2年に現地従業員の採用を「増員予定」と回答しました。